

2026.7.7 (1版)



## 第41回 ソフトウェア技術者協会 総会

日時： 2026年7月7日（火）18:00～19:00

場所： オンライン（Zoom）

議題：

第一号議案 2025年度事業報告

第二号議案 2025年度決算報告

第三号議案 2026年度事業計画

第四号議案 2026年度予算審議

第五号議案 役員改選

## 第一号議案 2025 年度事業報告

例年通り、ソフトウェア・シンポジウム 2025 を開催した（開催場所は岡山コンベンションセンターで、ハイブリッド開催とした）。その他、フォーラムや各種分科会活動を積極的に行った。

ソフトウェア・シンポジウム 2025 の概要は次のとおり。

### 第 45 回 Software Symposium 2025

期日：2025 年 6 月 11 日（水曜日）～ 13 日（金曜日）

会場：ハイブリッド開催（オンライン&現地：岡山コンベンションセンター）

参加者：129 人

実行委員長：中本 幸一（ノートルダム清心女子大学）、門田 暁人（岡山大学）

プログラム委員長：天壽 聡介（南山大学）、熊澤 努（山口東京理科大学/SRA）

ワーキング・グループ：9

論文・Future Presentation・報告セッション：20

（研究論文 14 本、経験論文 3 本、事例報告 2 本、FP 1 本）

フォーラム・ワークショップの開催実績は次のとおり。

### 2025.11.8 SEA Forum in Nov. 2025

最近のソフトウェア開発技術の動向 と

人間中心設計の考えがソフトウェア開発にもたらすもの

### 2026.01.23 SEA 新春教育フォーラム 2026

～ソフトウェア開発と大学の情報工学研究の未来～

### 2026.02.14 SEA 関西プロセス分科会

品質・効率・安全を同時に実現する統合開発プロセスの最新アプローチ

### 2026.02.28 SEA Forum in Feb. 2026

見積りもモダンなモダナイズ！「KKD」から「推定」見積りへの変革

～ 超概算見積りと機能規模精緻化のアプローチ ～

### 2026.03.28 SEA Forum in Mar. 2026

AI 活用の「現在地」と「次の一手」を可視化する

～ MA-ATRIX による組織の成熟度評価とロードマップ検討 ～

### 2026.05.16 SEA Forum in May. 2026

「ソフトウェア開発・保守における AI の活用」についての連続フォーラム

～ 生成 AI の歴史・位置づけ・展望 ～

これらの他に 2025.12.19 SEA 会員懇親会 in Dec. 2025

会員の皆さんが各自の経験や技術を自由に交流し合うための「場」を開催した。

分科会では、教育分科会がワークショップとフォーラムを開催した。

支部活動では、北海道支部がフォーラムを関西プロセス分科会がイベントを開催した。

国際交流に関しては前年度に引き続き、企画はありませんでした。

情報発信としては、WEB／メールと SEA MAIL を用いている。

メールについては、「SEA 事務局通信」として、SEA のイベントの案内、後援／協賛をしているイベントの案内を中心に、タイミングよく発信をした。

幹事会、支部活動、SIG 活動、ソフトウェア・シンポジウム、フォーラムなどにおいて、リモートで参加できる環境を提供するために、Zoom (Charge Name: Standard Pro Annual, Quantity:1) と Dropbox (Professional) を継続で契約を更新し、活用した。

第二号議案 2025年度決算報告（後日挿入）

## 第三号議案 2026 年度事業計画

実務を各幹事で分担する運営体制を維持し、より積極的に会の活動を行っていく。また、会員相互のコミュニケーションを促進する。

### 1. 会員数

現正会員数：138 人（昨年度 139 人）

新規会員：3 人（昨年度 2 人）

名誉会員：8 人

賛助会員：1 社（SRA）

### 2 活動計画

#### (1) フォーラム

- ・方針：フォーラムの企画と運営を組織的な取り組みとする。
- ・内容：個別テーマと連続テーマの 2 つに分ける。連続テーマについては、数年かけてフォローする。
- ・狙い：良質な議論の場としての認知を広げる。SEA としての知識の蓄積。
- ・方法：内容、講演者からのリクエスト、社会情勢などから、集合、オンライン、ハイブリッドの中から適切な方法を選択する。
- ・テーマ案：  
AI, AI Assisted Programming Process, データサイエンス, DX,  
セキュリティ, 信頼性/安全性, プロジェクト・マネジメント, 技術伝承など
- ・特別フォーラム

SEA のコミュニティ以外のより幅広い方々へ SEA の存在と活動内容を知ってもらうという目的で、特別フォーラムを開催する。年度毎の開催頻度や開催方法については、幹事会で検討する。

#### (2) ソフトウェア・シンポジウム

ソフトウェア技術に関わるさまざまな人びと、技術者、研究者、教育者、学生などが一堂に集い、発表や議論を通じて互いの経験や成果を共有することを目的に、毎年全国各地で開催。発表は論文発表・事例報告・Future Presentation, 議論の場としてはワーキンググループを用意している。

#### (3) 支部活動、分科会活動の強化

現在、以下の 9 つの支部と分科会が設置されている、活動している支部/分科会もあるが、休眠状態の支部/分科会もある。これらについては活動継続の確認を進める。

支部活動：

上海支部

九州支部

北海道支部

北陸支部

名古屋支部

広島支部

東北支部

横浜支部

関西支部

分科会活動：

教育分科会 (SIGEDU)

ソフトウェアプロセス分科会 (SPIN)

フォーマルメソッド分科会 (SIGFM)

ソフトウェア品質保証分科会 (SIGSQA)

ソフトウェア信頼性研究会 (FORCE)

プロセス設計分科会 (SIGPD)

ソフトウェア・メンテナンス研究会 (SERC)

オープンソース分科会

SIG on AI utilization (SIGuAI)

支部活動，分科会活動は，国内外のソフトウェア技術者の交流の場として大切なものなので，この2つの活動を積極的に支援する。具体的には，イベント開催の相談や活動費用の提供を行う。

また，新規に立上げを予定している支部活動，分科会活動があれば，積極的にサポートする。具体的には，ソフトウェア・シンポジウムのワーキング・グループやチュートリアルリーダーやメンバに，議論を継続する場として提供できる事を伝える。また，興味深い活動をしている方々がいれば，SEA 会員になっていただいたうえで，支部活動や分科会活動で実践することを提案する。

さらに，支部活動，分科会活動の発信力を強化するために，独自の Web サイトを立ち上げることも支援する。現在，独自の Web サイトを持っている活動は以下のとおりである。

支部活動： 北海道支部，東北支部，関西支部

分科会活動：教育分科会 (SIGEDU)，ソフトウェア信頼性研究会 (FORCE)，  
プロセス設計分科会 (SIGPD)

システムオブシステムズ分科会 (SIGSoS) は当初の目的であった SoS  
に関する話題の調査がほぼ完了したため終了。

(4) 今年度のイベント計画

SEA Forum, 分科会活動を計画的に行う。

9月 SEA forum

10月 - SEA 教育ワークショップ

- SEA 会員懇親会

- SS2027@金沢 実行委員会準備開始

12月11日 SEA Forum @ 北海道 (北海道支部主催)

12月 - ソフトウェア信頼性研究会第18回ワークショップ

1月 - 第34回 SEA 新春教育フォーラム 2027

- SEA Forum

2月 - SS2027 のロケハン+SEA Forum@金沢

3月 SEA Forum

4月 -SS2027@金沢 PC 委員会

6月 -SS2027@金沢

(5) 国際会議の企画

今までの関係と実績のある韓国, 中国, 台湾, ミャンマー, ベトナムなどとの国際会議を中心に, 企画の検討を開始する。

(6) SEA MAIL の電子版の発刊

SEA フォーラム開催時に報告書作成担当を決め, SEA フォーラムの実施記録を SEA MAIL として発行できるようにする。講演者の承諾を得た際にはフォーラムの資料も SEA MAIL で共有を行う。また, 幹事会で SEA MAIL への投稿を呼びかけ, 持ち回りで担当することを検討する。

(7) 幹事会

基本的には, 毎月1回開催する予定で開催スケジュールをたてる。

**2. 審議事項**

今回は特になし

第四号議案 2026年度予算審議

予算案

自 2026 年 4 月 1 日  
至 2027 年 3 月 31 日

支出の部		収入の部	
事務委託費	0	新入会費	40,000 (新規入会 5 名と想定)
印刷費	0	更新会費	700,000 (全会員が継続すると想定)
通信費	220,000	賛助会費	100,000
会議費	0	イベント収入	0
旅費支援	0	雑収入	10,000
支部・SIG 支援費	300,000		
国際活動費	200,000	資産からの繰入	110,000
会議室費	130,000		
雑費	60,000		
予備費	50,000		
合計	960,000	合計	960,000

予算書に関する註記

資産から、11 万円を今年度繰り入れ、イベント開催費用とする（対応する支出側は、支部・SIG 支援費、国際活動費他である）。なお、イベントが具体化し、費用に増減が予定される場合、各支出科目の費用振り分けを変更する案を作成し、幹事会で決議するものとする。

## 第五号議案 役員改選

役員（案）

代表幹事

本多慶匡

幹事（五十音順）

荒木啓二郎	石川雅彦	伊藤昌夫	小笠原秀人
岡本圭史	小川明彦	落水浩一郎	熊谷章
熊澤努	栗田太郎	小林修	小松久美子
酒匂 寛	杉田義明	鈴木裕信	富松篤典
中谷多哉子	中山優紀	奈良隆正	野村行憲
端山毅	三輪東	宮田一平	米島博司

会計監事

中森博晃 乗松 聡

名誉会員

荒木啓二郎	熊谷章	玉井哲雄	松原友夫
山崎利治	落水浩一郎	杉田義明	奈良隆正

事務局 伊藤昌夫

以上